

WEINTEK LABS., INC.

SysFile & SysDir Library

ファイル管理及びファイル
の開き方

サンプルプロジェクト

目次

1. 概要	1
2. Library を追加する	1
3. Function の説明	2
4. 操作例	3

1. 概要

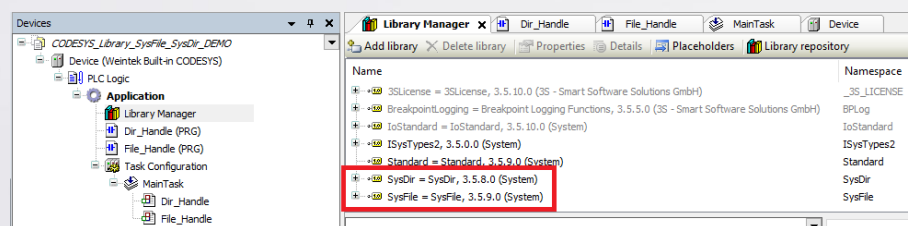
SysFile & SysDir は、File System を操作するために使用する Library です。

ユーザーが SysFile & SysDir Library の操作に慣れたら、簡単に File System 内のファイルを読み取ることができ、PC と CODESYS の間で転送できます。

- SysDir Library は File System 内のディレクトリを管理することができます。
- SysFile Library は File System 内のファイルをオープンすることができます。

2. Library を追加する

ステップ 1. CODESYS ソフトウェアのインターフェースに SysDir & SysFile Library を追加します。



ステップ 2. Library の Function を使用し、CODESYS で File System を管理します。

3. Function の説明

SysDir Library

Function 名	機能
SysDirGetCurrent	現在のディレクトリを取得する デフォルトディレクトリパス : /PlcLogic/
SysDirCreate	ディレクトリの下で 1 個のフォルダを作成する
SysDirRename	フォルダをリネームする
SysDirOpen	ディレクトリパス & ディレクトリの下で 1 個目のエントリーの名前
SysDirRead	次のエントリーの名前を読み取る
SysDirSetCurrent	ディレクトリのパスを設定する
SysDirClose	ディレクトリを閉じる

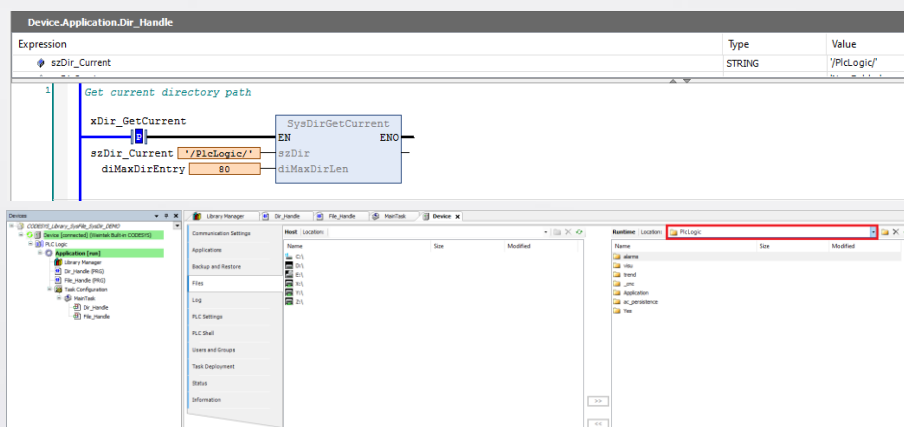
SysFile Library

Function 名	機能
SysFileOpen	現在のディレクトリの下でファイルをオープンする
SysFileWrite	データをファイルに書き込む
SysFileRead	ファイル内容を読み取る
SysFileClose	ファイルを閉じて保存する

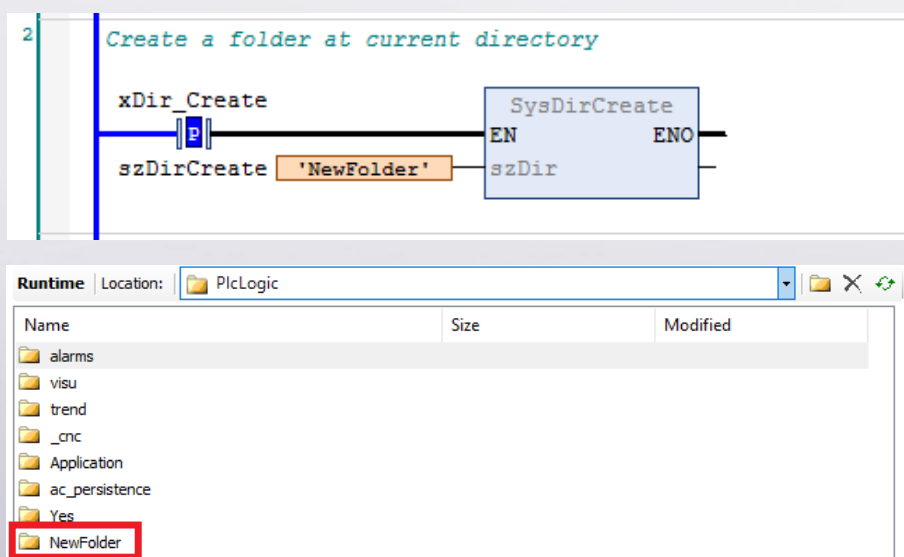
4. 操作例

ステップ 1. 現在のディレクトリパスを取得します。デフォルトは'/PlcLogic/'です。

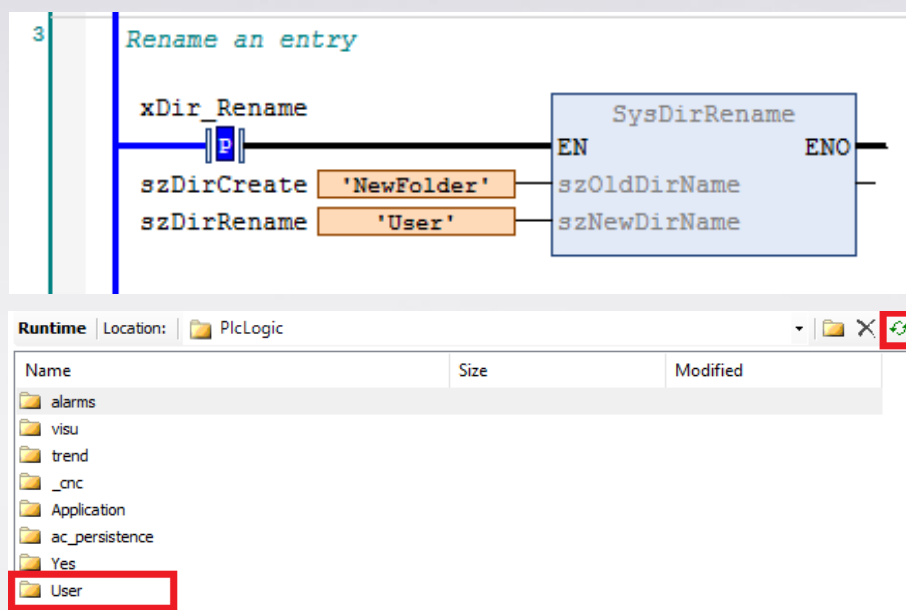
[Device] -> [File]で File System 内のフォルダ及びファイル名が閲覧できます。



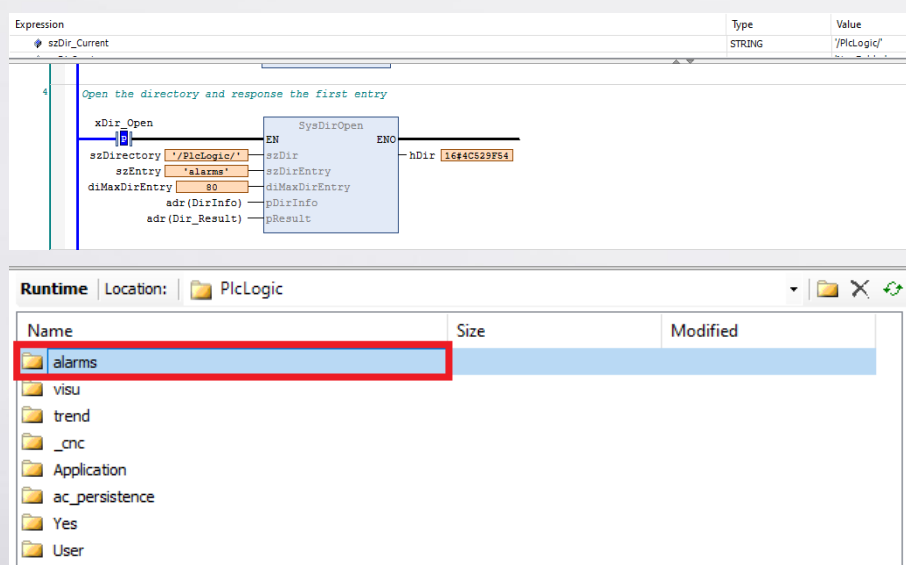
ステップ 2. ディレクトリ PlcLogic の下でフォルダを新規作成し、名前は“NewFolder”です。



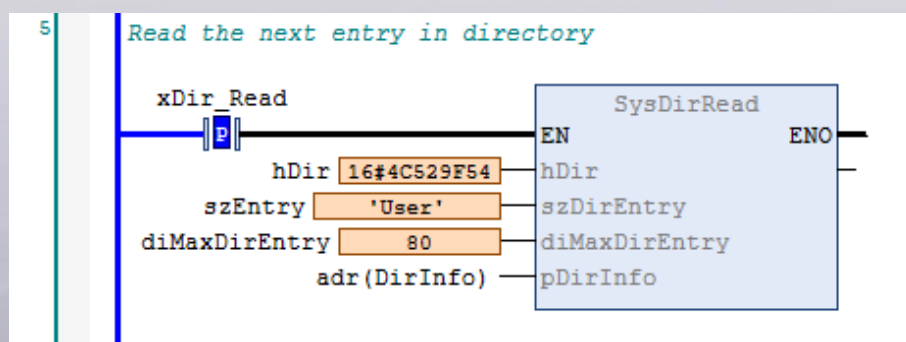
ステップ 3. “NewFolder”というフォルダ名を“User”にリネームします。



ステップ 4. ディレクトリをオープンし、デフォルトパスの 1 個目のエントリの名前を送信します。



ステップ 5. 次のエントリの名前を読み取ります。



ステップ 6. ディレクトリパスを"/PlcLogic/User/"に設定します。目前は空

きフォルダです。

Expression	Type	Value
szDirDirectory_New	STRING	/PlcLogic/User/


```

4 | Open the directory and response the first entry
  | xDir_Open --> SysDirOpen --> ENO
  | szDirectory "/PlcLogic/" --> szDir
  | szEntry "vsu" --> szDirEntry
  | diMaxDirEntry 80 --> diMaxDirEntry
  | adr(DirInfo) --> pDirInfo
  | adr(Dir_Result) --> pResult

5 | Read the next entry in directory
  | xDir_Read --> SysDirRead --> ENO
  | hDir 16#4C529F54 --> hDir
  | szEntry "vsu" --> szDirEntry
  | diMaxDirEntry 80 --> diMaxDirEntry
  | adr(DirInfo) --> pDirInfo

6 | Set the current directory path
  | xDir_SetCurrent --> SysDirSetCurrent --> ENO
  | szDirDirectory_New "/PlcLogic/" --> szDir
  
```


Runtime Location: PlcLogic/User		
Name	Size	Modified

ステップ 7. User フォルダの中でファイルを開きます。

同じファイル名のファイルがないため、“NewFile.txt”というファイルを新規作成します。

※ Access_Mode はファイルを読み取る/書き込むに設定されることが可能です。

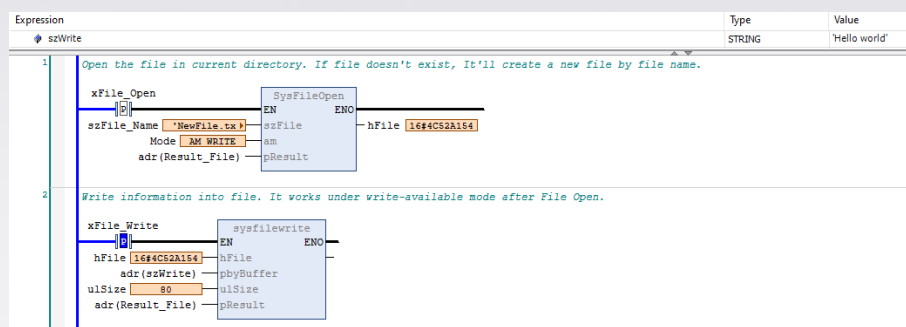
Expression	Type	Value
szFile_Name	STRING	'NewFile.txt'


```

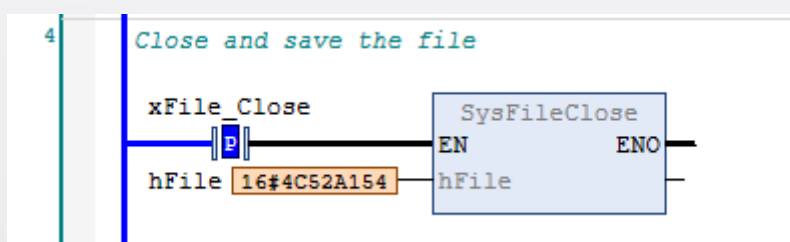
1 | Open the file in current directory. If file doesn't exist, It'll create a new file by file name.
  | xFile_Open --> SysFileOpen --> ENO
  | szFile_Name "NewFile.txt" --> szFile
  | Mode AM_WRITE --> am
  | adr(Result_File) --> pResult
  
```


Runtime Location: PlcLogic/User		
Name	Size	Modified
NewFile.txt	0 bytes	8/13/2019 2:53 PM

ステップ 8. スtring“Hello world”を書き込みます。



ステップ 9. ファイルを閉じます。



ステップ 10. “NewFile”ファイルを PC で開きます。

